



News letter

文部科学省科学研究費補助金 新学術領域研究
 領域略称「人工光合成」領域番号 2406
 人工光合成による太陽光エネルギーの物質変換：
 実用化に向けての異分野融合



班長からメッセージ

異分野融合と PPAP

A01 班班長 民秋 均

先日の最終公開シンポジウムでは、皆さんの御協力ありがとうございました。会場が少し寒かったのですが、皆さんの活発な議論で跳ね返してもらえたのではないのでしょうか？ 懇親会では、皆さんの胃袋を甘く見ていて、ご満足いただけなかった点があったかも知れません。失礼しました。2月末から3月初めの立命大朱雀Cでの国際会議 (Faraday Discussion & ICARP2017 下記参照) と慶応大日吉Cでの日本化学会第97回春季年会におけるシンポジウム(人工光合成フロンティア 2017: 初日午後)もごございますので、最後まで御協力をお願いします。

新学術領域「人工光合成」(AnApple)では、異分野融合を積極的に奨励・推進してきたのですが、いかがでしたでしょうか？ 班会議・全体会議・公開シンポジウムなどを通して、異分野の方々との出会いがあり、様々なところで共同研究が始まり、また成果が出ていることと思います。いくら通信手段の発達した現代でも、リアルに face-to-face で話をするので共同研究が出来るのだと思っていますので、その場を提供することがいくらかでも出来たかと思っています。その際に、おいしい食事と飲み物(アルコールを含む)の提供を心掛けましたが、いかがでしたでしょうか？ 見知らぬ人とでも同じテーブルで食事をすれば、友になれるというのが私の信念なので、共同研究の芽があちこちで出来たのではないのでしょうか？ 将来困ったときに相談できる専門家が aumentato としたら、それだけでもすごい収穫です。AnApple で一緒だった「某」ですが、というメールや電話があったら、お忙しくても優しくご対応頂ければと思います。

人工光合成を次に担っていただく方々を育成していくのも、AnApple の大きな使命です。若手育成シンポジウムがあちこちで芽生えていることは、大変うれしく思っています。昨年11月に生物と化学の若手研究者(学生や院生が中心)による新たな研究会が、立命大びわこくさつCであり、大いに盛り上がっていました。刺激を与える場所を提供するのはとても重要だと感じています。一般学生向け人工光合成のオープンカフェも学内で試してみました。まだ戸惑いもありますが、皆様のところでも色々な試みをお願いできればと思います。ブルーバックス(「人工光合成」とは何か)の提供も行っていますので、いつでもご相談ください。少子化対策(受験者確保)も含めて、大学教員による高

校での出前講義や、高校生の大学訪問なども増えていると思いますので、その際にもどうぞ。

ところで試験には、必ず正解があります。大学入試センター試験では、マークシート方式ですので、原則答えは一つです。個別の大学入試でも同じですが、筆記試験では少し様相が変わってきます。採点業務に携われる方々も多いと思いますが、悩ましいところがあると思います。「シ」なのか「ミ」なのか？ 「、」なのか「、」なのか？ 文字にして正しく伝えることがいかに重要なのかを、いつも考えさせられています。スマホ世代の人にとっては、文字を手で書くということがどんどん減ってきているので、このようになってしまうのはどうしようもないことなのですが、200枚程度の定期試験の採点に際しても、いつも悩んでいます。同じことが、科学の世界から一般社会へと情報を伝えるときにでも起こりえますので、他山の石としながらお願いできればと思います。人工光合成を、alternative facts や fake news や post-truth などの範疇に入れられないように。

5年間の AnApple の成果と、この4月からの人工光合成のさらなる研究 (xx)とをリンクしていくことも大事です。ペンやリンゴ、あるいはペンやパイナップルを、さらにはそれらを結合すれば、新たなものが生まれる。

I have xx. I have AnApple. Ah, AnApple-xx!

ピコ太郎先生に感謝！ しばらく、一般向け講演や学生向け講義の「枕」にも使えます。恋ダンスよりは、振り付けも簡単ですし、、、

(<https://www.youtube.com/watch?v=0E00Zuayv9Q>)。

ICARP2017 (人工光合成国際会議 2017)

日時：2017年3月2日(木) 午後4時～

3月5日(日) 正午

場所：立命館大学朱雀キャンパス (JR 嵯峨野線・

地下鉄東西線二条駅下車徒歩3分)

4F 大ホール(講演会場)・1F 多目的室

(ポスター会場：3日午後6時より)

参加費：3万円(一般)・1万5千円(学生)

懇親会費：7千円(4日午後6時より 7F「Tawawa」で)

<http://www.artificial-photosynthesis.net/ICARP2017>

新学術領域「人工光合成」ニュースレター

第4巻・第11号(通算第47号)平成29年2月11日発行

発行責任者：井上晴夫(首都大学東京 都市環境科学研究科)

編集責任者：八木政行(新潟大学 自然科学系)

<http://artificial-photosynthesis.net/>